



1873→2024

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

高鷲小学校だより

令和6年度 5月号

令和6年5月1日
羽曳野市立高鷲小学校
発行：校長 小島 博之

画面からでも感じ、形にできる高鷲っ子のパワー

4月9日には体育館にて、まずは「離任の会」があり、この3月まで高鷲小学校で勤務されていた先生方がVTRの大画面から語る優しく温かい声とともに、高鷲っ子はちよっぴりなつかしい名前とお顔をしっかりと心に焼き付けていました。続けて、新1年生が入場して「迎える会」が始まり、代表委員によるメッセージや楽しいゲームと、2年生からはアサガオの種のプレゼントがありました。画面の向こうに届く勢いの「♪なつかしい～たかわししょうがっこう～」が体育館に響き渡り、高鷲っ子全員のパワーを全身で感じられました。

4月23日は今年度初の児童朝会で運動場に全員が集まるはずでしたが、あいにく前夜からの雨によるグランドコンディション不良のため、多目的室から各教室へのリモート朝会となりました。私はタブレット端末の小画面に向かって、毎日「かっこいい」あいさつをする【立ち止まって→顔を見て→「おはようございます」→お辞儀をする】そんな高鷲っ子がいることを伝えました。するとその日の下校時には【立ち止まって→顔を見て→「さようなら」→お辞儀】と、ある子はさりげなく、ある子は唱えながら、「かっこいい」あいさつが何十人も連続してびっくり仰天。+自分のスタイルで、手を振ったり笑顔で会釈したりちよっぴりと恥ずかしそうだったり、高鷲っ子一人ひとりのあいさつのパワーを玄関先で心地よく味わいました。

画面からでも自分が「いいな」と感じたり、自分なりにみんなと一緒に「やってみよう」と形にできる、高鷲っ子のパワーを確かに感じた、4月の新しい高鷲小学校のスタートです。



◆「たかわし」を大切に～「たかわしの【た】は、たすけあいの【た】や！」

この【高鷲小学校だより】に掲げている「たかわし」の名前にちなんだ4つの共通目標（合言葉）【たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい】について、4月8日の始業式でお話しました。翌日に校内を回っているとき早速6年生の教室から「たかわしの【た】は、たすけあいの【た】や！」という高鷲っ子の声が聞こえてきました。何かしら助け合う場面があったのでしょうか。その6年生は、1年生の給食や掃除のヘルプに来てくれたり、休み時間に小さな子に声をかけてくれたり、黙々と委員会のお仕事にいそしんでくれたり、率先して日々よい見本を見せてくれています。



4月19日に私も同行した6年生校外学習では、奈良公園で散歩歩き疲れた帰りの空いた電車の座席に座っていた高鷲っ子たちが、途中駅でお年寄りの方が乗車してきた姿を見て顔を見合わせながら立ち上がり、少しはにかみながらも意を決して「どうぞ」と声を掛けていました。席を譲られた方から「優しい子たちやねえ」と返されて、浮かべた高鷲っ子たちの満足げな表情を見て、学校だけでなく世の中でもさりげなく「たすけあい」ができるって、ホントに素敵な力だなと嬉しくなりました。

◆5月行事予定(6月主なもの)は裏面に掲載しています。ご確認よろしく申し上げます。

家庭訪問ありがとうございました。年度早々のお忙しい時期ではありましたが、短時間ながらもお子さまのお話ができる有意義な時間となりました。5月16日には今年度初の学習参観を実施します。お子さまが新しい学年や教室で学習する様子をぜひご覧ください。参観後の学級懇談会、体育館でのPTA総会も併せてよろしく申し上げます。詳細のご案内は近日中にお配りいたします。

高鷲のシンボルツリー、よく学びよく遊ぶ高鷲っ子

高鷲小学校のサクラ(校歌3番は山桜ですが多くはソメイヨシノかな)は「サクラを見に来ました」とご挨拶されたご近所の方がいらっしゃるくらい、昔から地域のシンボルだったのでしょ。今年は特に遅いお目覚めで、例年にはできない高鷲っ子の新学期の学びを彩ってくれました。

4月8日始業式には北も南も満開でしたが、9日にかけて「花散らしの雨風」のおかげで北の玄関先が一面薄紅色のじゅうたんに。「まんがみたい」な本物の桜吹雪を全身に浴びて喜び回る高鷲っ子がたくさんいて、私も巻き込まれました。でもサクラはただ高鷲っ子を遊ばせるだけではありません。4月10日には4年生が理科の学習でタブレット端末を使ってサクラの木の様子を撮影していました。少し授業にお邪魔して、落ちたサクラの花弁を1つ拾って観察し根元が赤い発見を促したところ、「木に赤いもの(ガク)が残ってる」「この花は中(しべ)が赤いからもうすぐ散るで」「まだ枝についている花の根元が白いのは若い」など、次々と学びの視点を見つけてカメラに収めていました。翌週15日には1年生が生活科で学校の木を探検。入学式で満開だった木があつという間に緑の葉をつけていることに新鮮なまなざしを向けていました。

こちらは4月16日のお昼休みの運動場。センダンの木の大きな幹の根元に群がる高鷲っ子たち。「何してるの」と聞いたら「ここがおにごっこの基地やねん」とのこと。やっぱり大きな樹のそばには人が集まりやすいのかなと思って見ていると、「おに」がきたら「キャー」と叫んでは離れ、また木陰に集まる高鷲っ子たち。「ここなんか好きやねん」とも。校歌2番のセンダンはいつでも高鷲っ子にとって安心のシンボルツリーのようにです。始業式からずいぶん葉が茂り、そろそろ香り豊かになろうとしています。

